

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称： つぼみ保育園	種別： 認可保育園
代表者氏名： 園長 岡本 由美	定員（利用人数）： 66（67）名
所在地： 241-0826 神奈川県横浜市旭区東希望が丘188-1	
TEL： 045-360-0202	ホームページ： <a href="http://www.tsubomihoikuen.org/">http://www.tsubomihoikuen.org/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日	2002年5月2日
経営法人・設置主体（法人名等）：	特定非営利活動法人 全国子育て支援ネットワーク協会
職員数	常勤職員： 26名      非常勤職員： 10名
専門職員	保育士 26名      栄養士 2名
	看護師 1名      調理員 2名
	用務員 1名      その他 4名
施設・設備の概要	居室数： 保育室6、調理室1、 沐浴室1、調乳室1、 事務室1、更衣室1  設備等： 園庭、シャワー、 エレベーター、サンルーム

### ③理念・基本方針

<p><b>保育理念</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりひとりの気持ちを大切に、個性を伸ばす。</li> <li>・心身共に健やかに、生きる力を育てる。</li> </ul> <p><b>保育方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな経験を通し、人と関わるなかで生きる力を育てます。</li> <li>・こどもの心身の健やかな成長を求め、職員の質の向上を目指します。</li> <li>・ひとりひとりの気持ちを受け止め、愛情を持って接することで愛されていると感じられる保育を行います。</li> <li>・こどもたちが安心して過ごせるよう、優しい気持ち、優しいことばかけで触れ合います。</li> <li>・保護者との信頼関係を心掛け、保護者が安心して子育てと仕事の両立ができる環境作りを行います。</li> </ul> <p><b>運営方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童、園児、保護者の事を考え計画し、横浜市の保育事業に貢献する。</li> <li>・子育て中の保護者が子育てに自信が持てるように支援する。</li> <li>・子育ての相談、応援、協力をする事で保育園としての役割を果たす。</li> </ul> <p><b>保育目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを素直に表現してのびのびと遊ぶ子</li> <li>・心も体も生き生きと元気な子</li> <li>・思いやりがあり、温かい気持ちを持つ子</li> </ul>
---

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

園は、相鉄線「希望ヶ丘」駅より、徒歩8分ほどの厚木街道沿いにあり、定員は66名となっています。

園舎内の保育室や廊下、階段の踊り場、トイレなどの各場所は、明るい色やイラストを用いたデザイン性のある壁紙が施され、明るく楽しい雰囲気の間となっています。

保育室や園庭からは、相鉄線の電車を見ることができ、子どもたちは手を振ったり、指差しをしたりして、目を輝かせながら走る電車を追っています。園庭の大きなプランターでは、米の栽培を行ったり、近隣の高齢者施設の畑を借りて、季節の野菜や花などの栽培を通じて高齢者と交流したり、身近な自然や地域の人々と触れ合う機会も多く設けています。

全クラスで行っている「運動指導」のほか、1歳児クラスから始める「英語教室」や「サッカー教室」は、外部の専門講師の指導により実施しています。

保護者とは、全クラスで日々の園での様子と家庭での様子を「連絡ノート」を用いて情報をやり取りし、年度初めには、保育参観を行って、子どもの成長の様子を共有できるようにしています。

地域支援の取り組みにも力を入れており、一時保育の利用者は、年間で延べ300人ほどとなっています。また、地域の親子を対象にした「育児講座」や「交流保育」、「園庭開放」などを実施しています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年7月12日（契約日）～ 2023年2月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2017 年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

##### ◆職員全体で意識統一を図り、理念の実現を目指して取り組みを進めています

園長は、園での保育実践が幸せの発信源となるよう、子どもへの「言葉かけ」について、言葉の言い換えや肯定的な言葉の使用などに留意することを、折りに触れて職員に伝えていきます。職員は「言葉かけ」について常に意識を持ち、子どもたちが自ら成長していく力をはぐくめるよう、子ども一人ひとりの個性や気持ちを大切に保育にあたることを職員間での共通認識としています。園は、職員の定着率が良く、互いの保育観や役割を理解し合って、信頼関係を構築しています。日々の話し合いや各種会議を通して各クラスの様子や子ども一人ひとりの状況について伝え合い、職員全体で全ての子どもを見守りながら理念の実現を目指して取り組んでいます。

##### ◆子どもが遊びや活動を通して豊かな経験ができるよう保育を実践しています

園では、職種間で連携を図り、子どもが豊かな経験を積み重ねて成長できるよう、栄養士を中心にさまざまな食育活動を組み入れており、とうもろこしを栽培してポップコーンを作るなどしています。また、看護師による絵本を用いた保健指導なども実施しています。各保育室には、子どもの興味に応じておもちゃや製作に使う廃材、道具を準備して、好きな遊びを自分で選べるようにしています。異年齢でいっしょに園庭遊びや散歩を楽しむ中では、大きい子どもが思いやりの気持ちをはぐくむなど、ともに育ち合う関係性を築いています。年間を通した行事は、コロナ禍においても開催方法を工夫して実施につなげ、ねらいに沿って内容を立案しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

つぼみ保育園は開園から8年目を迎えました。今回が2度目の受審となります。

前回の受審の際、評価結果と保護者アンケートから様々な課題が見つかり、改めて保育の見直し、職員の質の向上に努めていましたが、新型コロナウイルス感染症という未知の状況に陥り戸惑う事が多々ありました。当園は様々な活動や行事を通してその経験から学び、育つ事を方針としています。行事よりも感染症対策、衛生面の配慮が優先となり、新しい保育の在り方を考えなければならないと痛感しました。保護者の皆様にご協力いただき新しい保育を進める中で、今回の第三者評価を受ける事になりました。

受審を機に保育計画、マニュアル等すべてを見直し職員会議も何度も開催しました。

迷い悩む中での保護者アンケートは大変励みになる内容でした。園の思いが保護者の皆様に伝わっていると実感でき、また、新しい保育のヒントとなるご意見もたくさんいただきました。

評価項目ごとに振り返りを行い今後の園の目指す方向性が見え職員が再び同じ方向を向いて進むきっかけとなりました。今回の受審では評価調査員の方が園の思いを丁寧に聞き取りしてくださいました。話しをする事で課題に気付き今後も良い保育が提供できるよう頑張っていかなければと改めて思いました。とても良い機会となりました。

今回の受審にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり